

宇宙ビジネスアイデアコンテスト S-Booster2019 にて

ポーラ・オルビスグループのチームが ANAホールディングス賞を獲得

2019年11月25日(月)に東京・日本橋にて行われた宇宙関連ビジネスアイデアコンテストにおいて、ポーラ・オルビスグループの横断チームによるビジネスアイデア「美肌ウェルネスツーリズム」が、スポンサー賞であるANAホールディングス賞を獲得しました。今後、ビジネスの実現を目指します。

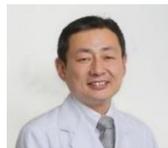
関連リリース (2019年10月25日) : https://ir.po-holdings.co.jp/news/news/news8970028150807687561/main/0/link/20191025_S-Booster2019.pdf

ポーラ・オルビスグループ横断チーム Be-SMAC (ビスマック)

ポーラの美肌予報を担当し、長年、気象と肌・体調の関係性解明に取り組む山川を中心に、肌科学研究を専門とする多田と、企業法務を専門とする北島の異色のチームです。



山川 弓香
株式会社ポーラ
商品企画部



多田 明弘
ポーラ化成工業株式会社
製品設計開発部



北島 岳
株式会社ポーラ・オルビス
ホールディングス 法務総務室



ANA 津田佳明チーフディレクターより山川へANAホールディングス賞を授与

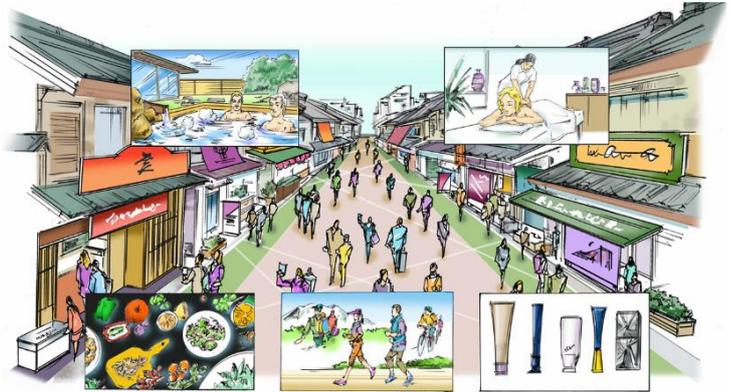
ANAホールディングス賞を獲得したビジネスアイデア“美肌ウェルネスツーリズム”

自社グループの肌・体調に関する知見を活用し、衛星データとのマッチング解析をもとに、旅行者が肌・体調をケアしながら、その地域ならではの観光資産に出会うことのできるサービスを提案しました。

“美肌”をフックに、肌に良い環境にある土地へ観光客を誘致し、地方創生への貢献を目指します。より多くの外国人観光客を日本に誘致するため、世界で拡大するウェルネスツーリズムと、心身共に美しく元気にする温泉・日本食・地元の美容体験などの観光資産を融合した“美肌ウェルネスツーリズム”を事業化する考えです。

技術のキーは、観光客の居住地と、日本の旅先の2地点を見守る「しきさい」「しずく」「ひまわり」といった衛星データの活用です。地表面温度・水蒸気・PM2.5・花粉などを含むエアロゾル・近赤外線など、肌状態に影響するデータを解析することで、訪日客一人ひとりに最適な旅プランを提供します。

衛星データの活用とスモールスタートによる実践的な計画で、早期の事業化を目指します。



ANAホールディングス株式会社からの授賞理由コメント

「ビジネスとしての実現性が高く、ANAグループとしても重要課題として取り組んでいる地方創生に繋がり、実現化に向けて連携の可能性が期待されたことを評価しました。」

S-Booster2019について

S-Booster は、宇宙を“素材”とする優れたビジネスアイデアの発掘を目的として、2017年にスタートしたコンテストです。

日本・アジア・オセアニアから集まった応募総数約300件のアイデアの中から、一次・二次選抜を通過した選りすぐりの12件が最終選抜会に臨みました。

ポーラ・オルビスグループでは、宇宙を切り口に、化粧品の枠にとらわれないビジネスアイデアを発掘しグループからの新しい価値の創出につなげることを目指して、2018年から参加しています。

専用ウェブサイト: <https://s-booster.jp/>

